

Dグループ 地域資源の再生・創出活動

Dグループでは、8月8日に行った新川周辺のまち歩きをふり振り返りながら、各自が考えた地域資源の再生・創出活動の活動プランについて話し合いました。



【まち歩きをふり振り返り】

●船堀街道から中川までの間の道

- ・空き地がコインパーキングになっているところが見られる。車の出入りで歩いている人が危ないこともあるのではないかな。
- ・緑が少ない。歩道を広げて街路樹を植え、例えば、その管理を沿道の人たちが行う。そうすることによって、人が集まり、道を中心に憩いの場になる。
- ・街路樹は、季節を感じるものにしたい。春に芽吹き、秋に実がなり紅葉するような樹種をバランスよく植えてはどうか。季節を感じることは生活していく上で、大切なことだと思う。

●中川の堤防

- ・中川の堤防の法面には、小学生に将来の夢をテーマに絵を描いてもらってはどうか。そうすることによって、川は危ないというイメージから水と緑と憩いの場のイメージを持たせることができる。

【活動プランについての意見交換】

●（区内の）親水公園について

- ・例えば、親水公園の滝は、名前が付いていないが、名前をつけることによって、もっと愛着が生まれるのではないかな。

●活動を行う上での資金について

- ・具体的な活動を実行する場合には、資金が必要になる。助成などの他に、資金を得る活動を考えてはどうか。

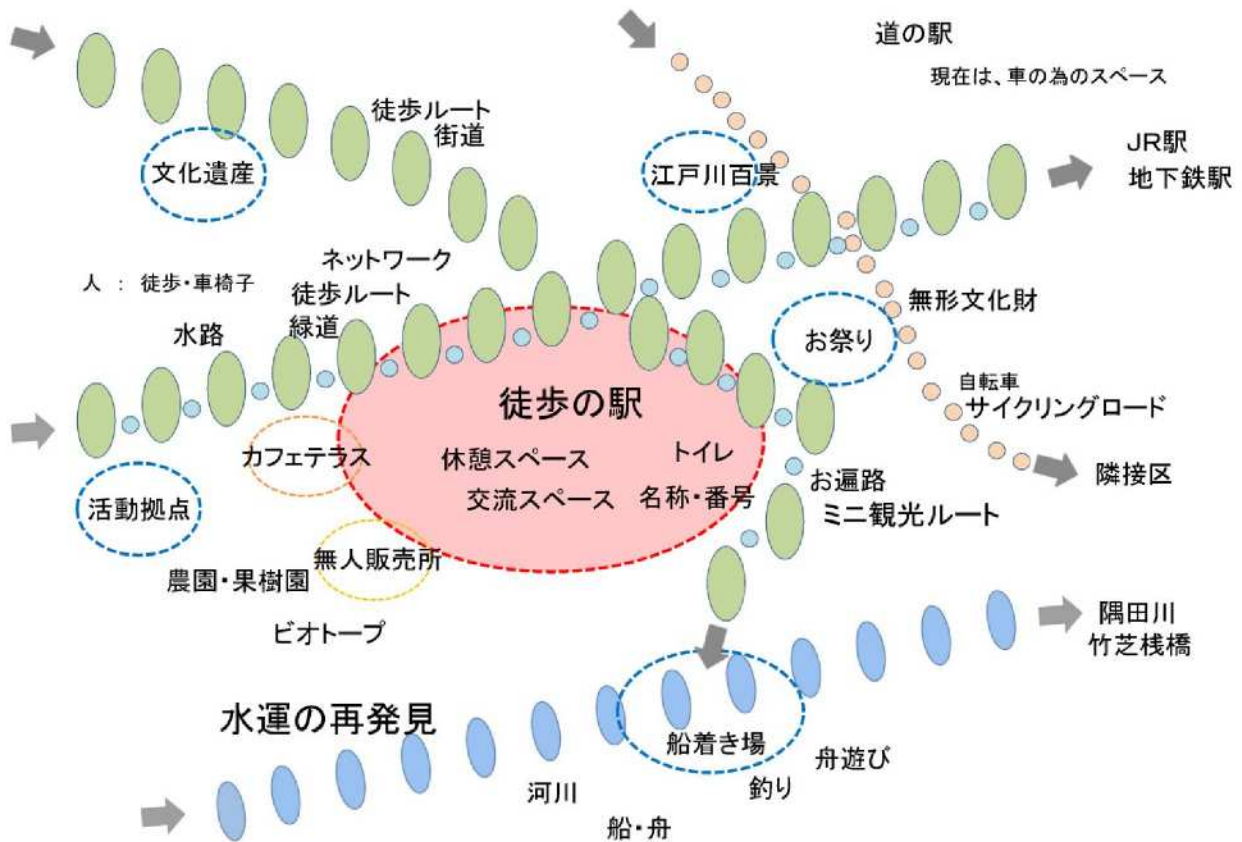
●具体的な活動について

- ・概念的な活動プランではなく、具体的な活動を行うためのプランを考えたい。
- ・「徒歩の駅 ネットワーク構想」を活動プランとして考えていきたい。（次ページ参照）

次回は、9月17日（金） 18:30～ タワーホール船堀402会議室にて、活動プランの内容について、発表に向けた検討を行うことになりました。

【徒歩の駅 ネットワーク構想についての提案 ～芦田さんの提案～】

- 区内を散策できるよう、街道や緑道などを徒歩ルートとし、区内を自転車でめぐるサイクリングロードを整備する。
- 徒歩ルート、サイクリングロードは、文化遺産やえどがわ百景の景観ポイント、地域でのお祭り、船着場、活動拠点をネットワーク化し、徒歩ルートは鉄道駅、サイクリングロードは隣接区を結び、区外からの集客に結びつける。
- 川では釣りや舟遊びができ、船着場からは、隅田川や竹芝栈橋などへの水上バスを運行させ、川を使った集客も図る。
- 徒歩ルート、サイクリングロードの要所に「徒歩の駅」として、休憩スペース、交流スペースなどを設置し、区内の農園や果樹園で収穫した農産物を販売する無人販売所やカフェテラスを整備する。
- こうした取り組みによって、区内外からの集客を図り、徒歩ルートは、お遍路ミニ観光ルートなどとして発展させていく。



江戸川区 徒歩の駅 ネットワーク構想